

様式第1号(第3条関係)

景観地区内における建築物の計画の通知書

年 月 日

芦屋市長

あて

通知者 住所
氏名

印

景観法第66条第2項の規定により、下記のとおり計画を通知します。

記

1 建築等工事主等の概要

(1) 建築等工事主

イ 氏名のフリガナ

ロ 氏名

ハ 郵便番号

ニ 住所

ホ 電話番号

(2) 設計者

イ 資格 () 建築士 () 登録第 号

ロ 氏名

ハ 建築士事務所名 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

ニ 郵便番号

ホ 所在地

ヘ 電話番号

(3) 工事監理者

イ 資格 () 建築士 () 登録第 号

ロ 氏名

ハ 建築士事務所名 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

ニ 郵便番号

ホ 所在地

ヘ 電話番号

(4) 工事施工者

イ 氏名

ロ 営業所名 建設業の許可 () 第 号

ハ 郵便番号

ニ 所在地

ホ 電話番号

2 計画の内容

(1) 建築物の建築等の場所

(2) 建築物の建築等の種別

(3) 建築物の概要

イ 敷地面積

ロ 主要用途

(計画部分)(計画以外の部分)(合計)

ハ 建築面積 () () ()

ニ 延べ面積 () () ()

(計画に係る建築物)(他の建築物)

ホ 建築物の数 () ()

ヘ 最高の高さ () ()

ト 階数 地上 () ()

地下 () ()

チ 構造

(4) 建築物の形態意匠の内容

(計画に係る建築物)(他の建築物)

イ 仕上げ 屋根 () ()

外壁 () ()

ロ 色彩 屋根 () ()

外壁 () ()

(5) 着手予定日 年 月 日

(6) 完了予定日 年 月 日

(7) その他必要な事項

(8) 備考

備考

- 1 通知者又は工事施工者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 通知者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 3 設計者又は工事監理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ設計者又は工事監理者の住所を書くこと。
- 4 工事監理者又は工事施工者が未定のときは、後で定まってから工事着手前に届けること。
- 5 変更通知を行う場合には、2(7)に変更の概要を記載すること。
- 6 行為の名称又は工事名が定まっているときは、2(8)に記載すること。
- 7 省令様式第3の1及び2は、この様式の写しに代えることができる。この場合には、最上段に「建築等計画概要書」と明示すること。